

- 1 『リーディングホスピタル』として、高松市医療全体の最適化を目指します。
- 2 『安全で良質な医療』を、ファインチームワークで提供します。
- 3 『まごころのある医療人』を、全力で育成します。
- 4 『地域とのつながり』を大切にし、みんなの暮らしを支えます。



診療科紹介 耳鼻咽喉科

いつも大変お世話になっております。日頃より患者さんを御紹介いただきありがとうございます。2018年9月に仏生山町に新築移転して以後、患者さんの増加により診察までお待たせしていることを心苦しく思っています。その分、懇切丁寧な診察を心がけていますので、ご了承ください。

診療体制

	月	火	水	木	金
午前	2 診体制	2 診体制	2 診体制	1 診体制	2 診体制
午後	1 診体制	検査他	1 診体制	手術	手術

- 火曜日の午後は各種検査や手術前の病状説明などの予約診療となっております。
- 扁桃周囲膿瘍、急性喉頭蓋炎などの急を要する疾患は適宜連絡をいただければ、対応いたします。



治療方針

急性期疾患 鼻出血、喉頭蓋炎などの生命に関わる疾患、及び感覚器官（副鼻腔炎による眼症状など）に影響する疾患に対して、保存的治療のみだけでなく、手術的な治療も併用して患者の満足度を上げます。

外来日帰り手術 軽度な副鼻腔炎、アレルギー性鼻炎、扁桃周囲膿瘍、滲出性中耳炎などの手術をすすめていきます。

その他 唾液線疾患、声帯ポリープ、突発性難聴、顔面神経麻痺、めまい疾患など多様な疾患にも対応しています。

慢性期疾患 慢性副鼻腔炎、慢性扁桃炎、甲状腺腫瘍などの疾患に対して積極的に手術療法を勧めています。手術的治療を拒絶する患者さんも存在するので、その人たちに対して保存的治療も提供できる体制づくり（具体的に副鼻腔炎に対する副鼻腔洗浄、慢性中耳炎に対するブロー液治療など）を確立しています。できるだけ短期間で診断がつく診療体制：超音波診断、穿刺吸引細胞診、針生検、内視鏡下生検などをすすめていきます。

診療科紹介 耳鼻咽喉科

耳鼻咽喉科の守備範囲は首から上、脳と眼球を除く部分で耳、鼻、口腔、咽喉頭、頸部、顔面とかなりの広範囲です。特に力を入れている分野を書き出します。

難治性耳漏

ブロー液治療を施しています。これにより数年間、耳漏に悩んでいた患者さんが完治し、喜んでいただいた例もあります。

慢性副鼻腔炎

ナビゲーションシステムを導入しており、より安全に手術ができます。

アレルギー性鼻炎、花粉症

アルゴンプラズマ凝固装置を用いて日帰り手術をします。特に鼻閉に悩んでいる患者さんにお勧めです。

舌下免疫療法

スギ花粉症、ダニによるアレルギー性鼻炎に対して、施行しています。改善率が80%と良好ですので、薬でコントロールがつきにくい患者さんには積極的に勧めています。

❁ 私が赴任してきて感じますことは、他診療科との垣根が低いことです。いろんな事を他科の先生より教わりました。これを患者さんに還元するのが私の努めと思っています。時代を反映して高齢化がすすんだため、嚥下機能障害が増加してきております。院内の嚥下機能チームと連携し、嚥下内視鏡をすることが増えてきています。このように各診療科との関係が非常にうまくいっています。

耳鼻咽喉科の外来診察は処置および機能検査が多いです。例を挙げると脳波聴力検査（ABR）、語音聴力検査、顔面神経誘発筋電図検査（ENoG）などきりがありません。後日になってもきちんと検査をして報告申し上げますので、遠慮なく依頼してください。

外来、入院診療とも一丸となってがんばっております。いたらぬ点もあると思いますが、懇切丁寧な診療に邁進していきます。御支援よろしく願いいたします。

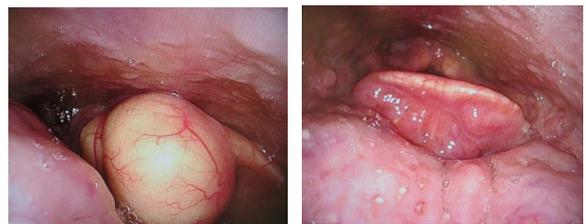
（文責 近藤 昭男）

口蓋扁桃、アデノイド疾患

扁桃炎による咽頭痛、発熱を繰り返す症例やIgA腎症、掌蹠膿疱症などの病巣感染や上気道狭窄によるいびきや顎顔面発育の影響がある症例に対して口蓋扁桃摘出術を施行します。さらにアデノイド増殖症を伴っている場合には従来はアデノイドを完全切除できなかったのを、当科では内視鏡を使用してアデノイドを徹底的に切除します。

甲状腺疾患（主に腫瘍）

当日に超音波検査を施行し、ある程度の診断まで出します。必要に応じて細胞診検査、甲状腺ホルモン検査をします。



喉頭蓋のう胞術前、術後

薬薬連携の会



当院では保険薬局との連携を図るため薬剤局が中心となり「薬薬連携の会」を定期的に開催しています。医師から疾患について勉強した後、グループディスカッションと各グループの発表を行い参加者と情報を共有し、また、交流を深めています。テーマは、「薬剤と症例について」「入院時、退院時の情報提供について」「実務実習について」など身近なテーマを選んで開催しています。

高松市新型インフルエンザ等対策訓練



新型インフルエンザ等の発生に備え、新型インフルエンザ等対策特別措置法 第12条において、指定行政機関の長などは、訓練を行うよう努めることが求められています。

平成31年2月6日(水)に、高松市保健所と第二種感染症指定医療機関である高松市立みんなの病院との合同実動訓練を実施しました。新型インフルエンザ疑いの患者を想定し、患者受け入れの連絡体制・診察・検査・入院までの一連の流れを確認しました。



また、感染症対策用陰圧式エアートントの設営訓練を実施し、設営場所の確認を行ないました。

当院では、感染症病床6床を有しており、新型インフルエンザ等が発生した際には、感染症医療に貢献していきたいと考えております。

地域まるごと医療を実践する「塩江分院」

塩江分院健康教室のご案内

【高松市民病院塩江分院基本方針】

1. 市民とともに「地域まるごと医療」を実践します。
2. おもいやりの心で「正しく良質な医療ケア」を提供します。
3. ファインチームワークで「感動のある病院」を実現します。

塩江分院では、地域に広く開かれた病院として、地域住民及び医療・福祉関係者を対象に、年1回健康教室を開催しています。

地域住民の方々の健康意識を高め、疾病予防につなげることや医療・福祉などの現場で働く方々が疾病を理解し、セルフケア支援や看護実践に活かせることを目的としています。

【演題】いきいきと生きて逝くために

講師として、綾川町国民健康保険陶病院院長 大原昌樹先生をお迎えし、人生の最後を迎えるに当たり終末期医療をどのように考え、どう選択していくか、だれもが通るであろう人生の終末期の過ごし方を一緒に考えてみませんか。多くの方々の御参加をお待ちしています。

講師

綾川町国民健康保険陶病院
院長 大原 昌樹 先生

とき

平成31年3月14日(木)
午後1時30分～2時40分

ところ

塩江地域保健活動センター(塩江分院 西隣)
3階会議室

対象

塩江地域住民の皆様、医療・福祉関係者の皆様



(お問い合わせは ☎087-893-0031 塩江分院 事務局まで)



第7回

高松市立みんなの病院

地域医療連携カンファレンス

演題

新型インフルエンザ対策から考える地域医療体制

名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学講座呼吸器内科学分野

講師

教授 長谷川 好規 先生



とき

2019年 7月 25日(木)

19:00～20:00 (開場18:30)

ところ

JRホテルクレメント高松 飛天の間(3F)

高松市浜ノ町1-1 087-811-1111

- ◇ 医師、医療・介護従事者等を対象としています
- ◇ カリキュラムコード[12地域医療]を取得となります(申請中)
- ◇ 講演会終了後、意見交換会を準備いたしております(無料)

『医療・介護関連施設職員研修会』開催



第58回



日 時：平成31年1月24日(木) 14:00～15:00

テ ー マ：「スタンダードプリコーション

(標準予防策)について」

担 当：感染管理認定看護師 片山 裕佳子

参加人数：24名

ご参加ありがとうございました

研修会等の年間予定表・申込用紙は病院ホームページからもダウンロードいただけます

<http://www.takamatsu-municipal-hospital.jp>



FAX予約をお願いします

患者さんをご紹介いただく際に、地域医療・患者支援センターへ事前にFAX予約をお願いいたします。

「高松市立みんなの病院FAX診療申込書」をご利用ください。



受付時間 平日(月～金)午前 8時30分～午後 6時00分

電 話 (087)813-7171(代表) / (087)813-6699(紹介予約専用)

F A X (087)813-6799(直通)

0120-834-224(フリーダイヤル )

※フリーダイヤルは県内固定電話のみ対応しております